



軌道動変位計測システム

■ 列車走行時の軌道変位および道床変位の計測が可能

「軌道動変位計測システム」は、営業線の近接工事や直下工事（軌道直下の横断道路トンネルなどの施工）の際に、列車走行時に生じる軌道動変位や道床に生じる変位を測定できる新しい測定システムです。

「軌道と路盤間の相対変位を視覚化する軌道沈下測定装置」と、「ネットワークカメラによる撮影装置」、相対変位を表示・記録・データ処理を行う「データ処理パソコン」から構成される経済的なシステムです。

特徴

緻密な計測を実現

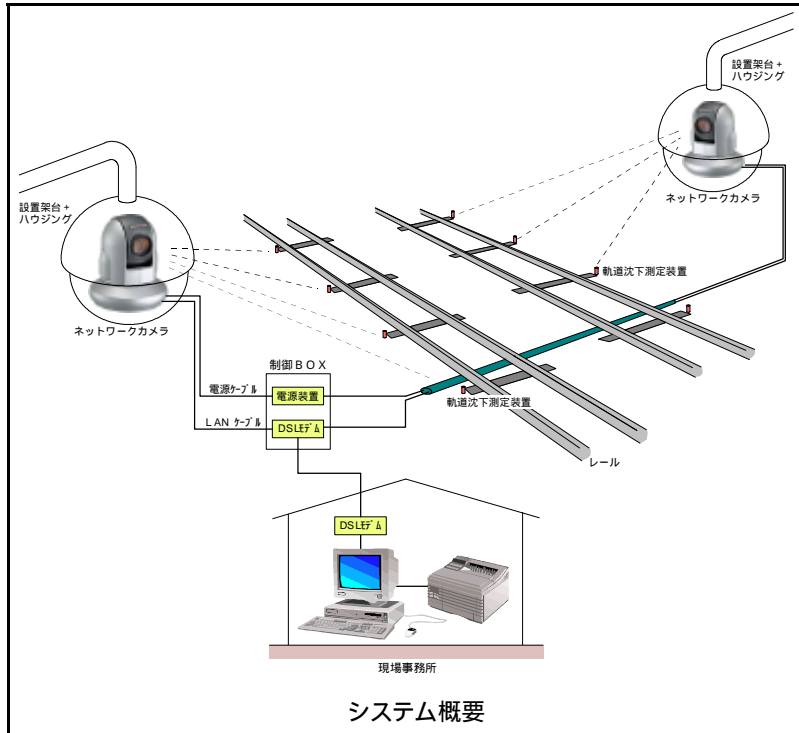
従来行われている静的な軌道変位計測に加えて、動的な変位計測が可能となり、より緻密な計測管理が行えます。列車走行時の軌道の変位量だけでなく、道床の沈下や隆起についても測定が可能です。軌道沈下測定装置のスケール部目盛り映像が不鮮明な場合でも、画像計測ソフトウェアにより正確に数値の読み取りが可能です。また、読み取った測定データはパソコン内部に保存されるため、変位の履歴を参照することができます。

経済的なシステムが構築可能

軌道変位を視覚化する軌道沈下測定装置は、変位量を電気信号に変換するものではなく、信号処理装置などが一切必要ないために、低コストなシステム構築可能です。撮影装置にはネットワークカメラ以外にデジタルカメラ等も使用できる他、目視による測定作業も可能であり、現場条件を考慮した測定が実現できます。

簡易なメンテナンス

定期的なメンテナンスは、軌道沈下測定装置のスケール部表面とネットワークカメラのレンズ部の洗浄だけで済みます。



| 仕様表 | |
|------------------|--|
| 軌道沈下測定装置 | |
| 型式 | EL-DDMR |
| 寸法 | 変位伝達治具 : max 150 × 128 × 100mm スケール+ピーク指示リング : 35 × 140mm アンカー部 : 18mm × L (プラスチック厚+路盤打込深) |
| ネットワークカメラ | |
| 型式 | KX-HCM180 |
| 画素数 | 1/4インチ、約38万画素、カラー |
| ズーム比 | 12段階42倍ズーム (Q1倍光学ズーム、2倍デジタルズーム) |
| パン(左右) | 回転角 ± 175° |
| チルト(上下) | 回転角 +90° ~ -120° |
| ネットワーク | Ethernet (100Base-TX, 10Base-T) |
| 使用温度 | 0 ~ 40 (本体のみ) |
| 寸法 | 123 × 140 × 123mm (本体のみ) |
| 重量 | 640g (本体のみ) |

